

創刊号の発行に当って

岩手医科大学歯学会々長

富 沢 万之助

わが歯学部が創立されてから、早くも10年の歳月が経過した。この10年間におけるわが国の経済は、驚異的な発展をとげた。その結果予期しない種々な公害が起こり、多くの人命が失われ大きな社会問題になっている。また、産業の発達につれて、人口が都市に集中して、いわゆる過疎地区ができ、その地区住民の医療の貧困を来している。本県もその例にもれず、過疎地域の医療対策に苦慮しているようである。

月への飛行が可能な現代において、満足な医療も受けられない無医地域があるとは、悲惨なことである。病気になった場合には、どこにおいても、十分な医療が受けられるような社会にしたいものである。また、われわれ医師もその線に沿うて協力したいものである。

歯学会を発足させようという努力は、歯学部創立当初から考えられていたが、遂に多くの人々の協力によって、昭和50年11月3日、その発会式がわが歯学部講堂において盛大に行われた。これを機会に、研究および診療面において、より一層の研鑽を積み、また、地域社会にも貢献したいものである。今日、このような立派な創刊号の発行をみるに至ったことは、誠にご同慶にたえない。

今後は、会員および関係方面のご協力によって、この歯学会が益々発展することを心から願うものである。